



レモンで地域を盛り上げよう!

♥ する れもんの島

## せとだレモン祭実行委員会

『せとだレモン祭』は昨年初めて瀬戸田で開催され、今年は3月18日(日)に第2回を開催するレモンづくしのお祭りです。

尾道観光協会を中心に尾道しまなみ商工会、JA等で実行委員会を立ち上げ、その他にも地元農家、学校、地域内外のお店や企業が協力し、一丸となって企画運営しています。

その取り組みについてお話を伺いました。

### 🍋 町中をレモン色にしたい 🍋

合併して尾道市となり、市域が広くなりました。尾道観光協会の人たちも島外の活発な活動に触れ、瀬戸田に住む私たちが発案、実行しなければ、地域の魅力を伝えられない、と強く思うようになりました。

その中で、瀬戸田はレモンの生産量日本一と言われるながら、これまでレモンにまつわる大きなイベントがない、と提案がありました。

企業や個人かを問わず、瀬戸田の人もそれ以外の人も、とことんレモンにこだわって、みんなで作る祭をしようと決めました。

### 🍋 レモンを通して人がつながる 🍋

企画を進めていく中で良かったことは、生産者である農家、販売するお店、イベントを実行する観光協会等のレモンに対する想いを共有する場ができたことです。



せとだレモン祭(レモントンネル登場)



私たちが瀬戸田観光PR大使です!

これまで同業者同士の集まりはありましたが、異業種での意見交換の機会がありませんでした。

レモン祭実行委員会や農業者のグループ、高根島の島魂レディース、生口島の未来を語る会など、世代や分野を超えて様々な機会で見聞を聞くことができました。

農家の方のレモン栽培の苦労や喜びを共有することで、より一層レモンをアピールしていきたいという気持ちが強くなりました。

今年、第2回を開催するにあたり前回よりも多くの参加協力の申し出があり、より広がりを感じています。

人と人とのつながりが大事だと改めて感じています。

### 🍋 レモンのある風景を未来へ 🍋

レモンの旬の時期は冬、葉っぱはレモンの香りがするなど、島に住んでいても農家以外の人は意外と知らないことがあります。

レモン祭をきっかけに次世代に瀬戸田の魅力を伝えたいと、島内の学校に呼びかけ小、中、高校すべて全校で関わっていただけることになりました。小学校には全児童と教職員に「オリジナル缶バッジ」を進呈し、「瀬戸田観光PR大使」に任命しました。PR大使という立場で、島内を訪れる観光客に観光案内だけでなく、島のことも話せるようになってほしいと期待しています。

瀬戸田では暮らしの中で当たり前となっているレモンのある風景をこれからも残して欲しいと願っています。

### 🍋 3月18日(日)せとだレモン祭 🍋

レモンまるかじり選手権、レモン担ぎタイムトライアル、ロング巻き寿司づくり、レモングルメなど、どなたでも参加して楽しめるお祭りです。ぜひお越しください。

📍せとだレモン祭実行委員会(一社)尾道観光協会内  
(☎0848-36-5495)

地域の特色を活かした活動をしている人や団体をご存じの方は情報をお寄せください。

📠 総務企画課(☎0848-38-9435) 📧 kikaku@city.onomichi.hiroshima.jp